

第4次連結中期経営計画と第3次連結中期CSR計画

持続的成長に向けた事業基盤の確立と財務基盤の再強化に向けて

コスモ石油グループは、第3次連結中期経営計画において「収益基盤の再構築」と「次の成長への布石」を基本方針に掲げ、施策や投資を着実に実施してまいりましたが、原油価格が高止まりする中、適正なマージンを確保できず、当初の収益目標に対しては未達となり

ました。2010～2012年度の第4次連結中期経営計画では、「石油精製・販売事業での利益回復の実現」と「石油化学・石油開発事業によるポートフォリオの拡充」により、事業基盤の確立と財務基盤の再強化を達成し、持続的な成長を図っていきます。

第4次連結中期経営計画 基本方針と収益・財務目標

基本方針 ① 石油精製・販売事業での利益回復の実現

基本方針 ② 石油化学・石油開発事業によるポートフォリオの拡充

基本方針 ③ CSR経営・環境経営の継続と推進

■2012年度 連結収益目標

売上高	26,430 億円
営業利益	690 億円
経常利益	650 億円
当期純利益	330 億円

■2012年度 経営指標目標

ROE	9.1%
自己資本比率	25.4%
D/Eレシオ	1.6 倍
ネットD/Eレシオ	1.3 倍

基本方針 ①

「石油精製・販売事業での利益回復の実現」

1. 合理化計画
 - ・ 要員スリム化
 - ・ 「安全」と「保全費低減」の両立
2. 石油精製
 - ・ 重質油分解装置群の最大活用による「原油調達コストの低減」と「プロダクトミックスの改善」
 - ・ 製油所の適正稼働による需給調整機能の最大限発揮
3. 国内石油販売
 - ・ 販売油種構成の改善
 - ・ 流通、元売双方における適正マージンの確保
4. 海外石油販売
 - ・ アジア、環太平洋での安定販路拡大

基本方針 ②

「石油化学・石油開発事業によるポートフォリオの拡充」

1. 石油化学事業
 - ・ MX(ミックスキシレン)製造装置新設 (30万トン/年)
 - ・ PX(パラキシレン)製造装置建設着手 (80万トン/年)
2. 石油開発事業
 - ・ アブダビ石油(株)の利権更新
 - ・ カタール石油開発(株)「A構造南部油田」の商業生産開始
 - ・ 豪州オーデイシャス、テネイシャス油田の早期生産開始
3. 環境・再生可能エネルギー事業
 - ・ ALA:商品化の加速と販売力の強化
 - ・ 風力発電:エコ・パワー(株)株式取得による本格参入
 - ・ 太陽光発電:ポリシリコンの低コスト製造技術確立
 - ・ 集光太陽熱発電:事業化の可能性検証

基本方針 ③

第3次連結中期CSR計画(2010-2012年度)と、2010年度の取り組み状況

	重点項目	テーマ	主な活動施策・目標
第3次連結中期CSR計画	CSR推進体制の機能向上	実践度向上のための組織体制の強化	CSR推進責任者/担当者の選任および役割の再確認によるグループ全体のCSR推進体制のレベルアップ
		企業行動指針の認識度・理解度のさらなる向上	・ 定期的な社内研修(企業倫理研修)の継続 ・ モニタリング(CSR調査)の実施
		社規・マニュアル類に準拠した効率的な業務の推進	・ 社内インフラの活用などによる業務の平準化・簡素化および情報管理強化
		危機管理体制の再構築	・ 全社横断的なリスクの洗い出しおよび対策策定の継続 ・ 教育訓練(BCP)の継続実施
	安全管理の強化 (第3次連結中期安全計画) ⇒詳細はP.30を参照	事故削減の定量目標を設定し実績を評価・改善することで安全レベルの向上を図る	<製油所・コスモ松山石油(株)> 事故ゼロの達成・維持(2010年:不安全不具合発生件数のベース年比90%以上削減) <その他部門(各事業所/グループ会社)> 労働災害ゼロ/削減、事故・トラブルゼロ/削減など、具体的な目標に向けた安全管理活動の維持・発展
	人権/人事施策の充実 (第3次連結中期人権/人事計画) ⇒詳細はP.31を参照	人権尊重:ハラスメント防止、差別意識の撤廃 多様性尊重・機会均等:公正な採用を継続 心身のヘルスケア増進:過重労働の禁止、特定健康診断の実施 職場と家庭の両立支援:育児・介護休職推進、余暇活動支援	・ 人権研修日勤者受講率 80%以上 ・ 障がい者雇用率の維持向上(法定1.8%以上) ・ 長時間勤務者の漸次削減 ・ 日勤者有給休暇取得率の維持向上(コスモ石油:80%以上、グループ会社:現状改善)
	環境対応策の推進 (第4次連結中期環境計画) ⇒詳細はP.34を参照	事業継続を踏まえた地球温暖化防止への戦略的対応	・ 2012年度において現在の事業領域(原油生産、原油輸送、精製および製品輸送・貯蔵)における排出量の約3%に相当する22万t-CO ₂ /年以上のCO ₂ 削減(施策実施前との比較、風力発電事業によるCO ₂ 削減寄与分を含む) ・ 製造部門、製品輸送・貯蔵部門、オフィスおよび研究部門における温室効果ガスの定量管理
		環境負荷の低減	・ 通常運転、非常時作業時等における環境課題の抽出と対策の実施 ・ 産業廃棄物の削減:最終処分率目標の達成(コスモ石油:0.5%未満、対象会社計5.0%未満) ・ 内部監査・外部監査の充実による環境管理の徹底 ・ 土壌環境対応の徹底 ・ エコオフィス活動の推進 (グループ全体:コピー用紙▲9%、社有車燃料▲6%、オフィス電力▲7% ※2007~2009年度の実績平均比) ・ グリーン購入の推進
		環境貢献活動の推進	・ コスモ石油エコカード基金を通じた環境貢献活動の推進 ・ 生物多様性の保全
	社会に応える コミュニケーション活動の推進	ステークホルダーからの評価を踏まえた効果的なコミュニケーション活動の実現	お客様、地域社会、株主・投資家、国際社会など、さまざまなステークホルダーに対するコミュニケーション活動を継続

※表中の▲は削減を表します。

第4次連結中期経営計画と第3次連結中期CSR計画の2010年度の取り組み状況

2010年度 経常利益961億円を達成

コスモ石油グループでは、石油製品需給の適正化によるマージンの改善と合理化を推進しました。2010年10月に本格稼働を開始した堺製油所のコーカーを活用するとともに、石油事業における適正な需給環

境の構築や石油開発事業の拡大により収益基盤を強化してきました。また、諸施策により得られた収益は将来への成長に向けた設備投資と有利子負債の削減に充当し、財務基盤・収益基盤を強化しています。

2011年度の経営方針

経営方針

- エネルギーの安定供給
- 石油精製・販売事業での収益基盤の維持・強化
- 石油開発事業での収益拡大

供給

- 西日本の3製油所の増産によるバックアップ
- 千葉製油所は安全確保を最優先として、早期の復旧をめざす
- コーカー稼働による収益拡大

販売

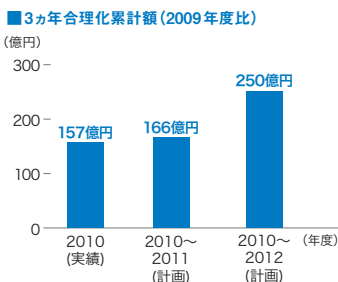
- 震災復興関連需要への対応と適正マージンの確保

石油開発

- 増産により原油高を最大限享受

合理化の取り組み

コスモ石油グループ全体で合理化・効率化を推進した結果、2010年度は、震災の影響による販売促進費の縮小もあり、157億円の削減となりました。



石油精製・販売事業の取り組み

コーカーの最大活用により需要構造の変化に対応することで収益拡大をめざします。また、石油製品の販売では適正な需給環境の構築に努め、より安定的なマージンを確保します。



コーカー(重質油分解装置)群

石油化学事業の取り組み

新興国において拡大するペット樹脂などの原料となるPX(パラキシレン)需要に対し、韓国のヒュンダイオイルバンク(株)とともに合弁会社HCベトロケムを設立し、PX事業に参入しました。2013年には新設装置が完工し、世界最大規模の年間118万トンの生産ラインが実現する予定です。



PX(パラキシレン)製造装置

新規事業への取り組み

将来の成長のために、環境事業にも取り組んでいます。

- ALA
- 風力発電
- 太陽光発電
- 集光太陽熱発電



ALA入り液体肥料「ペンタガーデン」

※達成度：○達成 △一部達成 ×未達成

2010年度の活動総括・主な実績	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ CSR推進委員会において、2010年度の活動実績および課題を確認するとともに、2011年度の活動方針を決定 ・ CSR推進責任者(64名)および推進担当者(91名)を選任。 	○
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社内研修(企業倫理研修)を10~12月に実施(3,611名参加) ・ CSR調査を2011年2月に実施(4,828名回答) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 決裁データベースの改修による業務フローの適正化を9月に実施 ・ 重要文書保全台帳のデータベース化による情報管理を4月に実施 	△
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全社横断的なリスクの洗い出しおよび対策策定の見直しを3~5月に実施 ・ 教育訓練(BCP)を9月に実施 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造部門:製油所・コスモ松山石油(株)の不安全不具合の発生件数が2008年以降、継続して減少(08年143件→09年126件→10年99件) 	△
<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流部門:コスモ陸運(株)混油2件、コスモ海運(株)海上漏洩1件、座礁事故0件 ・ 販売・その他部門:販売部労働災害0件、事業開発部事故2件、研究開発部トラブル2件 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権研修受講率 83%で達成 ・ コスモ石油 2.2%で達成 	△
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長時間勤務者減少(09年度526名→10年度359名) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ コスモ石油 78.4%で未達成、グループ対象会社18社中13社が改善 	△
<ul style="list-style-type: none"> ・ ▲24万t-CO₂/年で達成 ・ 省エネルギー法・温対法にもとづく温室効果ガス排出量を取りまとめ、報告書を提出 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 10件の課題を抽出し、予防措置の検討を実施(完了1件、継続検討9件) ・ 最終処分率の目標達成(コスモ石油0.5%、対象会社計2.9%) ・ 内外監査、外部監査および環境査察を実施 ・ 計画どおりに対応を実施(浄化SS: 28件) ・ コピー用紙、社有車燃料は目標達成、オフィス電力は目標未達 ・ 特定用品の100%グリーン購入達成 	△
<ul style="list-style-type: none"> ・ コスモ石油エコカード基金の11プロジェクトの継続実施および新規プロジェクト4件決定 ・ 事業領域の生物多様性の影響度調査の実施と対応方針策定 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ココロも満タンに」宣言2011活動においてCSR診断のポイントが前年より改善 ・ 「コスモの森」活動を市原市、堺市、松山市で実施 ・ クリスマスカードプロジェクトでカードを送付(1,804枚) 	○